

山には**ハギ**の花が咲き始めました。

でも、その葉っぱをよく見ると、何者かにきれいに切り取られているものが結構たくさん見られるのです。

一枚だけならともかく、何枚も切り取っていったのは一体誰の仕業でしょうか？

しばらく見ていると「ハチ」が1匹飛んできて、ハギの葉の上にとまりました。  
そして...

葉の上を円を描くように動いたかと思うと、体と同じくらいの長さの葉っぱを抱えて飛び立ったのです。

わずか3秒ほどの早業です！！

この短時間に、見事に葉っぱを口で噛み切っていたのです。  
それもナイフで切り取ったようになめらかに...

そして、

葉っぱを抱えたまま、数m先の竹筒の穴へ持ち込みました。

(人止め柵の杭として地面に打ち込んだ竹に、シュロ縄などを通すための穴を開けてあるのですが、その穴の中へ持ち込んだのです。つまり竹筒の中の空洞を巣にしているのでしょうね)

葉っぱを運び込んだ後、待つこと約1分、再び穴から飛び出してきた、同じハギの木まで飛んで行ったのです。

そこで葉っぱを切り取ってまた戻ってくる、ということを何度も繰り返していました。

「ハキリバチ」はいろいろ種類が多いようですが、この種はどうも「ツルガハキリバチ」に似ているようです。

















































